

## 令和4年度 自己評価表

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	実績値	目標値	評価（自己評価の結果）		改善策
				令和3年度	令和4年度	中間	最終	
【確かな学力】 児童の学び方の変革を促し、学力・学習意欲の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が主体的に学習する態度を育てる。</li> <li>児童の理解程度や興味関心に応じた学習を展開する。</li> <li>児童一人一人の学びの段階に応じた学力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別最適な学びの実現のため、学習計画表をもとに自立学習、自由進度学習に取り組む。児童の選択と決定を大事にし、主体的に学習に取り組む児童を育てる。</li> <li>低・中・高学年等の異年齢集団での学習活動を行い、イェナプラン教育を参考にしたゆるやかな協働学習を仕組み、学習を自立させる。</li> <li>生活科と総合的な学習の時間に地域に密着した探究的な課題を設定し、体験的な異年齢合同学習を行う。</li> <li>ICT（Qubena等）を積極的に活用し、自主学習を活発にさせたり、練習量を増やしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の学習満足度（アンケート）</li> <li>国語・算数の単元末テストの通過率 平均80点以上の児童の割合</li> <li>市教委実施の学力調査における各教科の目標値を超える児童の割合</li> </ul>	学習満足度 73%  <ul style="list-style-type: none"> <li>国語 82.2%</li> <li>算数 66.7%</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語 75%</li> <li>算数 77.5%</li> <li>理科 73%</li> </ul>	学習満足度 77%  <ul style="list-style-type: none"> <li>国語 84%</li> <li>算数 70%</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語 80%</li> <li>算数 80%</li> <li>理科 78%</li> </ul>	学習満足度 77%  国語 97% 算数 98%  12月に実施予定		児童の学習の満足度は、中間報告でほぼ目標値に到達している。特に、自由進度学習等で取り組んでいることから友達と協力して学習することは満足度につながっているようである。さらに満足度を上げるために、児童の自己選択・自己決定ができる授業を展開していけるようにする。 国語・算数の単元末テストの通過率平均80点以上の児童の割合も、1学期末では、達成できている。初見の長文読解において、叙述に則して読むことができるように、学力アップタイムに、読解プリントを位置付ける。何を根拠にその答えが導かれたのかわかる解答例を準備し、それを使って確かめられるようにする。
【豊かな心】 児童の豊かな心と協働を基軸とした人間関係を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育と協働的な体験活動を推進し自己肯定感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考え、議論する道徳教育を推進し、自己有用感を高める。</li> <li>異年齢集団による活動（縦割りグループによる活動、集団遊び、小中合同の活動等）を積極的に設定する。</li> <li>活動後に振り返りと肯定的相互評価活動を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよさがわかる児童の割合</li> <li>友達のよさがわかる児童の割合</li> <li>認められていると感じた児童の割合（児童アンケート）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分 75.5%</li> <li>友達 91.9%</li> <li>認識 75.6%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分 78%</li> <li>友達 94%</li> <li>認識 79%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分 82.6%</li> <li>友達 71.7%</li> <li>認識 84.8%</li> </ul>		自分のよさがわかり、認められていると感じた児童の割合は増加しているが、友達のよさがわかる児童の割合は減少している。「みたか発表会」や行事等で自分のがんばっていることや好きなことを発表する機会を積極的に持ち、他の児童の感想を掲示する活動を継続する。帰りの会で友達のよさやがんばり・クラスのよかったことを発表したり認め合う活動を行う。その際、結果だけでなく、努力する過程の大切さなどの視点を教師側が示すことで、自他ともに伸びていこうとする意欲につなげる。
【健やかな体】 児童の体力、生活習慣の基礎を培う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症予防対策に努め、児童の健康・安全を守る。</li> <li>基本的な生活習慣を確立させ、体力・運動能力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染源を絶つために、健康観察カードや児童の健康観察を徹底し、健康状態の把握に努める。</li> <li>感染経路を絶つために、手洗い・うがい・顔洗いをこまめに行う。トイレ等の共有場所や教室の消毒を徹底する。</li> <li>学校栄養士の協力を受け、食育の指導を計画的に行う。</li> <li>体幹を鍛え、体の全体的なバランスを高めるために、「チャレンジ10」を体育や業前運動の準備運動として行う。業前運動に体力の課題に即した、サーキットトレーニングやおにごっこなどの集団遊びを取り入れる。</li> <li>体力づくりコーナーを設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣に関する肯定的評価の割合（児童アンケート）</li> <li>体力テストを5月と11月の2回実施し、4種目について、前回の記録を上回った児童の割合 長座体前屈 シャトルラン 反復横とび 50m走</li> </ul>	起床 67.3% バランスのとれた朝食 64.0% 就寝 69.4% メディアコントロール 48.9% 手洗いの習慣 93.8%  長座体前屈 74.5% シャトルラン 50.0% 反復横跳び 71.1% 50m走 48.9%	起床 70% バランスのとれた朝食 70% 就寝 72% メディアコントロール 52% 手洗いの習慣 95%  長座体前屈 78% シャトルラン 55% 反復横跳び 75% 50m走 50%	起床 65.2% バランスのとれた朝食 82.6% 就寝 74.4% メディアコントロール 1日2時間以内 93.5% 手洗いの習慣 87.0%  昨年11月の体力テストと比較し、上回った児童の割合 長座体前屈 55% シャトルラン 50% 反復横跳び 56% 50m走 71%		昨年度より「三高っ子げんきカード」の実施に合わせて、睡眠カレンダーの記入を行っている。就寝時刻とメディアコントロール（1日2時間まで）は目標値を上回ることができた。しかし、起床時刻は遅くなっていることから、寝る1時間以上前からメディアはやめ、良質な睡眠をとることを意識づけるための保健指導を行う。手洗いのタイミングに声かけをしたり、時間を確保する。 今後も体育の授業で必ず走る活動を取り入れる。柔軟性・持久力に課題があるため、体育朝会で中学校の体育科教諭とも連携し、日常的に一人でも取り組める運動を紹介するとともに、クラスルームにのせる。授業の準備運動はチャレンジ10の中からその種目に効果的な運動を重点的に行う。
【信頼される学校】 保護者・地域からの信頼に応える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域が協働しやすい環境をつくり、学校満足度を向上させる。</li> <li>働き方改革をすすめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だより、学級通信、保健だより、classroom、HP等により、学校や児童の活動の様子を分かりやすく発信する。</li> <li>保護者からの相談は、迅速かつ丁寧に対応し、報告・連絡・相談・確認を確実に進行。</li> <li>会議は必ず終了時刻を設定して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校満足度に関する肯定的評価の割合（保護者アンケート）</li> <li>働き方改革に対する満足度が80パーセント以上（職員アンケート）</li> </ul>	学校満足度 保護者 100%（よく 64.9%）  職員 90%	学校満足度 保護者 100%（よく 70%）  職員 90%	学校満足度 保護者 100%（よく 68.9%）  職員（よく 67%）（やや 33%）		肯定的な評価が、目標値に近づいている。引き続き、わかりやすい発信に取り組む。また、保護者との連携を密にし、相談に対しては迅速に、丁寧に対応する。 会議や研修は時間を設定するとともに、効率よく校務が行えるようお互いにアイデアを出し合い、元気に仕事が行える職場づくりをする。